

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017 年	11 月	23 日	記入者	久門たつお
調査者名	小倉	久門	鈴木		

調査対象先	達磨寺(臨済宗南禅寺派)				
所在地	北葛城郡王寺町本町2丁目1-40			電話番号	0745-31-2341
代表者 調査対応者	日野周圭住職				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1 件 1 棟	国宝:	件 棟
				重文:	2 件 件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
		<input checked="" type="checkbox"/> その他(県指定の方丈の修理日程は決定している)	
	今後の予定	方丈は江戸時代・寛文7年(1667)の建造で、約20年前から傾き始め、2年前から突っかい棒3本で支えている。2018年1月から2年半の予定で解体修理を行う。県、町の補助を得て実施した。	
	要望	特にない。	

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input checked="" type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	木造聖徳太子坐像、木造達磨坐像(ともに重文)などを安置する本堂は平成16年(2004)に新築した。煙感知機は本堂、庫裡に設置し、警備会社と直結している。本堂に避雷針、放水銃2基も整備。	
	今後の予定	方丈の解体修理と並行して防火対策も進めていく。	
	要望	特にない。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
		<input type="checkbox"/> その他()	
	今後の予定		
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	達磨寺(臨済宗南禅寺派)
-------	--------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	方丈で以前に白アリ被害はあったが、現在は無い。獣害はない。
③ 今後	今後の予定、要望	特になし。

県指定の方丈は老朽化のため突っかい棒で補強	重文などの仏像を安置する本堂には避雷針を設置
-----------------------	------------------------



火災報知機は警備会社に直結

本堂近くに放水銃2基を設置



重文の木造達磨坐像。室町時代作

【調査票記入者(久門たつお)の感想】



住職によると、県指定の方丈の解体修理は2018年3月に始まり、元の外観に復するのに3年ほどかかるようだ。県、王寺町の補助もあって取り組まれる事業が順調に進むことを祈りたい。